

八頭町総合戦略の重点取組①

【八頭イノベーション・バレーの創設】

製造業等の大型の工場誘致が困難となる一方で、IT関係などインターネット環境を活用し、場所にとらわれることなく就業可能な業務が増加してきていることを踏まえ、学校の跡地など空き施設を活用し、企業等の本拠から離れた場所に設置するオフィス(サテライトオフィス)の開設など情報関係企業等の誘致を行い、新たな雇用の場を創出し、革新的な起業家(イノベーター)が活躍・発信するまちを創設する。

- 隼小学校跡を活用した拠点施設「隼Lab.」の整備・運営(H29.12開所)
運営会社:(株)シーセブンハヤブサ(H29.4設立)

※入居数:14企業・団体、来場者数(H30:約42,000人)

自動運転バスの実証実験(H31.3/23~4/5) * 403人試乗

実施主体:八頭町・SBドライブ(株)



八頭町総合戦略の重点取組②

【因幡但馬海幸・山幸回廊の創設】

重要な公共交通であり観光資源ともなりうる若桜鉄道について、継続的な事業運営が可能となる支援を行うとともに、因幡地域と但馬地域が連携し、若桜鉄道等を活用した広域観光ルート(海幸・山幸回廊)の創設などの広域観光を推進する。併せて、若桜鉄道のPRを積極的に行う。

- 若桜鉄道(車両)の観光列車化 →観光列車「昭和」(H29)「八頭号」(H30)
- Gバス原風景コース催行、読売バスツアーの実施、首都圏・関西圏プロモーション活動、Wi-Fiの増設、観光ガイドアプリの開発
- 八頭町PR動画の作成 →「DININGOUT TOTTORI-YAZU」(H30)
「出る杭を伸ばす 八頭町」、音楽フェス「Torihada」(H29)
「これからの日本のことやっています 八頭町」(H28)



観光列車「八頭号」(H31.3.2デビュー)



DININGOUT会場の様子(清徳寺)

八頭町総合戦略の重点取組③

【八頭フルーツ街道の継承・八頭ブランドの確立】

- 「こおげ花御所柿」のGI(地理的表示保護制度)登録、商標登録 (H30.12)
- 特別栽培米「神兔」のブランド化(H29～)
- 果樹農家後継者の育成

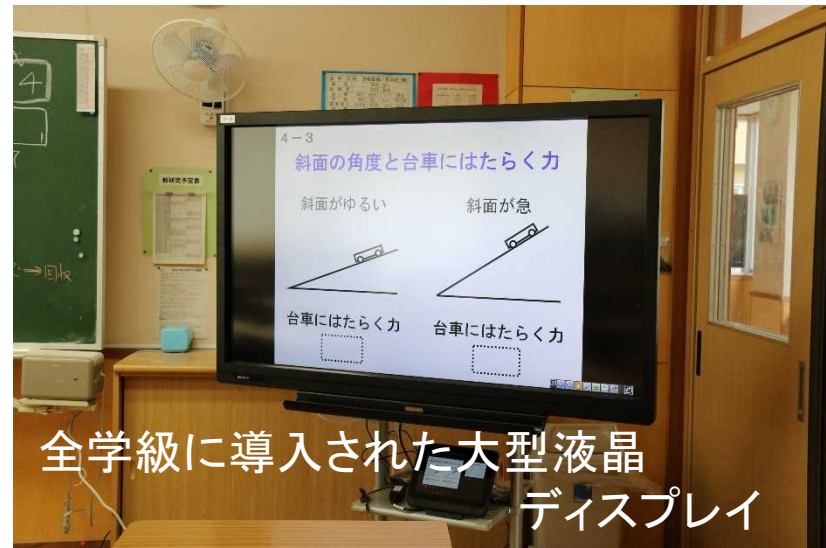


八頭町総合戦略の重点取組④

【安心子育て・いきいき学習のまち八頭の創設】

- 子育て環境の充実
 - (H28～)第2子以降の保育料無料化
 - (H29～)子育て世代包括支援センターの開設による切れ目のない子育て支援、病児保育、入学祝い金の創設、在宅育児世帯への現金給付、ヘルパー派遣の拡充等
- 学校教育のICT化の推進
 - ・小中学校全学級に大型液晶ディスプレイとタブレット型PCをセットで整備。児童生徒用タブレット型PCも整備
 - ・全小学校でプログラミング教育を実施(H30～)

八東保育所(H31.4.開所)



全学級に導入された大型液晶
ディスプレイ